

## 課題と実績・目標

三井物産は経営理念(Mission, Vision, Values)の下、さまざまなステークホルダーの信頼と期待に応え、企業の社会的責任(CSR)を重視した経営を積極的に推進しています。そして経済、環境、社会、それぞれの側面における企業価値の総和を高めることを経営目的として、本業を通じて、また、本業を越えた社会貢献活動を通じて、社会と会社の双方の持続可能性を実現し、社会から信頼される会社を目指しています。ここでは、当社が2012年度に取り組んだ主な実績と次年度の課題・目標を示しています。

## CSRマネジメントの実績と目標

<自己評価による目標の達成度>

● :実施して成果を得られたもの      ④ :実施してさらに成果を上げる必要のあるもの      ✕ :実施しなかったもの

### ガバナンス

項目	2012年度の課題・目標	目標の達成度	2013年度の課題・目標
コーポレート・ガバナンス	「三井物産コーポレート・ガバナンスおよび内部統制原則」の当社連結ベースでの周知徹底	④	「三井物産コーポレート・ガバナンスおよび内部統制原則」の当社連結ベースでの周知徹底
	経営の透明性の確保およびガバナンスの継続的高度化	④	経営の透明性の確保およびガバナンスの継続的高度化
内部統制	グローバル・グループベースでの内部統制体制の有効性・効率性の継続的な向上	④	グローバル・グループベースでの内部統制体制の有効性・効率性の継続的な向上
コンプライアンス	グローバル・グループベースのコンプライアンス活動のさらなる深化	④	グローバル・グループベースのコンプライアンス活動のさらなる深化
	コンプライアンスに関する意識の維持・向上と実践知識の獲得のため、社会情勢を踏まえた研修・教育の継続	●	コンプライアンスに関する意識の維持・向上と実践知識の獲得のため、社会情勢を踏まえた研修・教育の継続
危機管理体制	危機管理体制の維持・向上	④	危機管理・緊急対策の深化に向けた社内体制の再検証

### 環境

項目	2012年度の課題・目標	目標の達成度	2013年度の課題・目標
環境マネジメント体制の強化	三井物産環境月間の継続実施による役職員の環境意識の向上	●	「三井物産環境月間」の継続実施による役職員の環境意識の向上
	関係会社ISO14001の実効性向上	④	ISO14001モニタリング報告制度の改善による環境事故リスクの低減
	環境影響リスク評価手法を見直し、グローバル・グループベースで環境負荷低減につながる環境実査を推進	④	当社独自システム『環境影響評価』による国内外関係会社の環境負荷低減
	「環境への影響が大きい事業」の管理深化	●	新規事業案件に対する環境リスク管理の実効性向上
地球温暖化防止の推進	国内グループベースでは、CO <sub>2</sub> の多量排出先を濃管理対象会社とし、エネルギー使用量を原単位で年平均1%以上低減することを目標とする。グローバル・グループベースでのCO <sub>2</sub> 排出量の経年変化を把握するとともに、削減余地の把握を行う	●	<国内グループベース> CO <sub>2</sub> の多量排出先を濃管理対象会社とし、エネルギー使用量を原単位で年平均1%以上低減 <グローバル・グループベース> CO <sub>2</sub> 排出量の経年変化および削減余地の把握
	環境法令調査等を通じた関係会社における環境法令の遵守強化	●	国内外関係会社の環境法令遵守強化
	環境・エネルギービジネスの全社的推進	④	環境・エネルギービジネスの全社的推進
社有林の活用	森林環境プログラム内容の充実、差別化を徹底し、質的充実感を高める	●	「森林」「林業」「木づかい」の大切さを伝える森林環境プログラムを継続的に開催する
	社有林活動全般にわたる発信活動を通じて広く認知度向上を図る	●	社有林活動全般にわたる発信活動を通じて広く認知度向上を図る
	木質バイオマス用途開発などの活動を通じ、多角的な活用を継続	●	木質バイオマス用途開発などの活動を通じ、多角的な活用を継続

## 社会

項目	2012年度の 課題・目標	目標の 達成度	2013年度の 課題・目標
社会とのかかわり	グローバル・グループベースでの役職員の参加（ボランティア活動等）を含めた当社社会貢献活動の着実な遂行および社外への的確な活動の発信	●	グローバル・グループベースでの役職員の参加（ボランティア活動等）を含めた当社社会貢献活動の着実な遂行
	環境基金による社会のニーズに対応した環境貢献活動の推進	●	環境基金による社会のニーズに対応した環境貢献活動の推進
	環境基金活動への社員参加促進	●	環境基金活動への社員参加促進
	「国際交流」「教育」「環境」の3重点分野を中心に、当社の強みを活かし、テーマ（多文化共生、国際的・次世代の人材育成、国連MDG'sへの取り組み等）を意識した当社中核案件への選別的・効率的取り組み	●	「国際交流」「教育」「環境」の3重点分野を中心とし、各々の掲げるテーマ（多文化共生、国際的・次世代の人材育成、国連MDG'sの達成等）を踏まえ、社会に対する効果的かつ継続的な価値提供を意識した当社社会貢献活動の中核案件の推進
	NPO/NGO・社外有識者・被災地等とのアンテナ・発信機能の強化	●	各種ステークホルダーとのコミュニケーションを通じたアンテナ・発信機能の強化
取引先とのかかわり	サプライチェーンCSR取組方針の社内外への浸透活動の継続、およびリスクの高い分野の調達先への調査を継続	●	サプライチェーンCSR取組方針のもと、リスクの高い分野の調達先への第三者検査を検討
社員とのかかわり	多様な人材が活躍できる人事制度の導入に向けた取り組みを推進	●	多様な人材が活躍できる人事制度の実現と安定運用
	グローバル・グループベースでの人材育成の強化と活用施策を推進	●	グローバル・グループベースでの多様な人材の育成と人材活用の加速
	会社と社員の成長を支えるための人事総務基盤を強化する 特に、グローバル・グループベースでのコンプライアンス・労務管理および危機管理対応取り組み	●	会社と社員の成長を支えるための人事総務部基盤強化（グローバル・グループベースでのコンプライアンス・労務管理・災害時対応等への取り組み、および働きやすさや労働生産性向上に寄与する職場環境整備）
	原発稼働停止による電力需給逼迫に対応するため昨年同様の節電施策取り組み	●	夏場の電力需給逼迫に対応するため昨年同様の節電施策取り組み

課題と  
実績・目標

## CSR マネジメント

項目	2012年度の 課題・目標	目標の 達成度	2013年度の 課題・目標
CSR推進活動	CSR推進活動のグローバル化と最適化に向けた継続的取り組み	●	CSR推進活動のグローバル化と最適化に向けた継続的取り組み
	現場の自立的なCSR推進活動の実践と、会社による現場支援の強化	●	現場の自立的なCSR推進活動の実践と、会社による現場支援の強化
	グローバル・グループベースの「良い仕事」「三井物産のCSR」意識の向上、および「社会的責任リスク」に関する感度向上	●	「グローバル・コンパクト」遵守状況の調査と継続的改善
	人権対応の深化に向けた取り組み実施	●	人権対応の深化に向けた取り組み実施
リスクマネジメント	より包括的かつメリハリのあるリスク管理を目指す 具体的には環境への影響が大きい事業の中で異例なレピュテーションリスクを内包するものを環境関連事業の対象とすること、環境諮問委員会など外部専門家との協議を弾力的かつ迅速に行う運用に変更すること等	●	新設した事業支援ユニットを通じ、特定事業案件組成の早期段階から、包括的かつメリハリのあるリスク管理を目指す
ステークホルダー コミュニケーション	CSRレポートを通じた非財務情報開示のさらなる改善 ステークホルダーエンゲージメントの遂行	●	統合レポートの財務情報と非財務情報との一層の融合 ステークホルダーエンゲージメントの遂行
	戦略的な情報開示を通じた当社経営の透明性と説明責任の維持・向上 資本市場の目線の当社経営および現場へのフィードバック	●	戦略的な情報開示を通じた当社経営の透明性と説明責任の維持・向上 資本市場の目線の当社経営および現場へのフィードバック

## 事業分野別のCSR課題と2012年度の実績

三井物産のCSRとは「良い仕事」の実践であり、それは本業を通じて価値を創造し、社会に提供していくことです。12本部からなる営業本部では、当社の事業が世の中の役に立つものか、お客さまに付加価値をもたらすものか、自分自身のやりがいにつながっているかを常に意識しつつ、社会のニーズに対応したさまざまな事業展開を行っています。ここでは、各営業本部において、経済、環境および社会に対し強く影響すると考えられる課題とその取り組み状況をご紹介します。

### 金属分野

営業本部	CSR課題	2012年度(2012/4~2013/3)の取り組み
鉄鋼製品本部	環境負荷の軽減に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浮体式洋上風力発電等の再生可能エネルギー分野へ資材供給</li> <li>● 自動車軽量化に資する高張力鋼板・アルミ板の供給を推進</li> <li>● 新興国におけるCO<sub>2</sub>削減効果が大きい鉄道整備事業へレールを販売</li> </ul>
	新興国における社会的投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新興国のインフラ整備に貢献すべく、インドで電炉を本格稼働</li> <li>● タイの電炉にて建設用鋼材を生産し、タイの災害復興に貢献</li> <li>● ロシアにて建材用鋼材の加工センターを本格稼働</li> </ul>
	エネルギー安定供給に貢献	豪州LNGプロジェクト向けに鋼管、形鋼等の建設用鋼材をタイムリーに供給し、エネルギーの安定供給に貢献
金属資源本部	低炭素社会の実現に向けた課題の産業的解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境省による平成24年度小型電子機器等リサイクルシステム構築実証事業の運営業務を受託、行政と密に連携しつつ推進</li> <li>● 震災復興案件として、東北で鶏糞を燃料として利用したバイオマス発電事業を推進</li> <li>● PKS(パーム油由来の廃棄物)のバイオマス燃料化事業の取り組みを開始</li> <li>● セブン-イレブン・ジャパン閉鎖店舗の廃材を有価で引き取り、出資先の共英製鋼・共英リサイクルで適正処理する事業を推進</li> </ul>
	持続可能な資源の利用 (レアメタルの安定供給確保)	鉄鉱石残渣より重レアアースを抽出・回収するスキームの構築に信越化学と協働し推進

### 機械・インフラ分野

営業本部	CSR課題	2012年度(2012/4~2013/3)の取り組み
プロジェクト本部	消費者課題への対応 (必要不可欠なサービスへのアクセス) 水資源の確保・活用、環境汚染の予防	メキシコ/グアハラハラ市向けEl Ahogado下水処理設備が2012年5月に商業運転開始。その他受注済の大型2案件も建設工事が進んでおり、子会社Atltec社を通じメキシコにおける下水事業を拡大中。中国におけるGalaxy事業、タイにおけるタイタップウォーター等の事業も運営継続中
	持続可能な資源の利用	国内再生可能エネルギー分野においてソフトバンクとの協業により、米子太陽光を着工。事業拡大に向け後続案件も順次推進中
	社会的投資の実行	新興国の経済成長を支える港湾インフラへの投資と運営効率化を推進
機械・輸送システム本部	安全への対応	本部内に安全推進委員会を設置し、事例検証および関係会社の安全に関する取り組みに関する情報共有を継続的に実施。同委員会の活動に基づき、現場にて、ロジ会社(Transfreightグループ)、金融会社(BAFグループ)にて、交通安全講習会を定期開催し、社員への教育をさらに強化
	新興国の生活利便性の向上	新興国での自動車・二輪車販売事業(含、金融サービス提供)を通じ、「庶民の移動手段」の提供を実現し生活水準の向上に貢献。また、トラック販売・サービスを通じ、庶民の生活を下支えする物流改善・向上にも貢献
	地域社会との共生	関係会社の地域社会に対するさまざまな社会貢献活動を継続実施
	クリーンエネルギーの安定供給	当社が参画するLNG船(20隻超)の運航を通じ、LNGの安定供給に取組中
	航空輸送による災害救助、医療支援	長崎県の離島への医師派遣用ヘリコプター(フライングドクター)として三井物産エアロスペースが取り扱うベル社双発ヘリB429が採用され、離島民の医療向上に貢献
	環境課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市鉄道や貨物鉄道等の鉄道インフラ整備案件に継続的に取り組んでおり、モーダルシフトの促進による排気ガス低減効果の向上に寄与して行く方針</li> <li>● 約残船の省エネ船型、エンジンへ変更。また、友好造船所へのエコシップ開発促進の働きかけおよび発注</li> </ul>

## 化学品分野

営業本部	CSR課題	2012年度(2012/4~2013/3)の取り組み
基礎化学品本部／ 機能化学品本部	持続可能な資源利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本国内における大規模ソーラー発電所開発事業に注力</li> <li>● ブラジルにおける、サトウキビを原料としたバイオ化学品事業を推進</li> </ul>
	食料の安定供給への貢献	食料増産・食の安定供給に向け、肥料原料・飼料添加物・農薬の3本を柱に既存事業の拡大に取り組む
	内外の諸法令・規制への適合	国内外化学品関連法令（REACH、毒劇物管理、産業廃棄物管理、高圧ガス管理等）のセミナー開催

## エネルギー分野

営業本部	CSR課題	2012年度(2012/4~2013/3)の取り組み
エネルギー第一本部／ エネルギー第二本部	エネルギーの安全・安定供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内外の関係会社とも連携、原油・石油製品、LNG等エネルギーの安全安定供給および運行の実施</li> <li>● 既存LNGプロジェクトの操業によるLNGの安定供給</li> <li>● シェールガス・シェールオイルの開発生産プロジェクト推進を通じたガス・オイルの安定供給</li> </ul>
	環境課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バイオ燃料（バイオエタノール並びに木質ペレット等）や水素事業の検討を通じ、持続可能な資源の利用を追求。排出権事業は、国際枠組みと市況動向を踏まえつつ、事業検討を実施</li> <li>● 石炭火力発電所でのゼロエミッション化を目指し、発電時に排出される二酸化炭素を回収する豪州カライド酸素燃焼プロジェクトを推進。2012年3月に世界初となる火力発電所実機での酸素燃焼プロセスの試験運転を開始し、12月には二酸化炭素の液化回収を含めた同プロセスの実証試験を開始</li> </ul>

## 生活産業分野

営業本部	CSR課題	2012年度(2012/4~2013/3)の取り組み
食糧本部／ 食品事業本部	食の安全管理体制の強化	食の安全管理レベル向上のため、食品衛生管理委員会会議および当社食の安全コンサルタントによる食の安全セミナーを毎月開催（食品衛生法違反事例の原因および再発防止策を共有）。同セミナーを今年から単なる講演・講義方式でなく双方向コミュニケーション方式に変更、内容・密度をアップした
	人権・環境に配慮した農業事業の支援・推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子会社東邦物産を通じ、米作りと自然環境の共生による地域経済の持続的な振興をコンセプトに、環境保全型で農業を使わない自然共生米、兵庫県豊岡市の「コウノトリ育む米」、佐渡の「朱鷺と暮らす郷づくり認証米」等の生産・販売を支援</li> <li>● RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）認証パームオイルの販売支援を推進</li> </ul>
	食を通じた人材交流と人材育成	米国の高校生・大学生による農業団体であるFuture Farmers of America (FFA)の後援、訪日研修を34年間継続して支援中。キッズキッチン協会を通じ子供の食育活動を継続して支援
コンシューマーサービス 事業本部	人権への配慮（CSR調達の促進）	三井物産インターファクションにおいて、新規調達先へ「サプライチェーンCSR取組方針」への理解を求める書状を配布・同意取付を行い浸透活動を継続実施。2012年度は国内420社・海外168社から同意を取付け、2008年からの累計では国内外合計2,961社となった
	環境問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チリにおけるウッドチップ加工輸出事業に参画。製紙用途に植林したユーカリを原料としており、持続的森林育成管理に寄与</li> <li>● 三井住商建材を通じて、太陽光発電システムを住宅用途として約1,000棟向けに販売</li> <li>● スマートシティ事業の一環として、パナソニック藤沢工場跡地における藤沢サステイナブルスマートタウン事業運営会社へ出資参画</li> </ul>
	放送事業を通じた環境意識の啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子会社キッズステーションにおいて、子供向け番組「環境超人エコガンダー」約140本を制作・放映し、健全な知育情操教育・環境意識の向上を促進</li> <li>● 子会社ワールドハイビジョンチャンネルでは、復興支援ドキュメント「未来への教科書」を24本制作し放送、環境意識の啓蒙活動に貢献</li> </ul>
	TVショッピング事業を通じたりサイクル推進活動	関連会社QVCジャパンにおいて、梱包方法を工夫することで、年間プラスチック排出量を前年比82%に削減した

## 次世代・機能推進分野

営業本部	CSR課題	2012年度(2012/4～2013/3)の取り組み
次世代・機能推進本部	環境負荷の軽減に向けた対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Tres Amigas事業蓋然性の精査、米国の系統連係事業発掘、インド蓄電池サービス事業実現に向けた実証実験の実施</li> <li>● 北京泰豪／中国、CNA／シンガポール：日本企業等の高度な省エネソリューション導入を検討。当社関連プロジェクトとの協業を模索</li> <li>● Viridity／米国、天津捷威／中国：Viridityを通して、米国における電力使用最適化サービス事業を推進するとともに、デマンドレスポンスを用いた電力系統安定化に寄与。天津捷威を通して、中国におけるリチウムイオン電池E-Bikeの普及、および、中国自動車メーカーとのEV開発を推進</li> <li>● Formosa／台湾：Formosaと共同で省エネで環境負荷が低いLEDを全世界で推進中</li> </ul>
	環境関連企業への投資促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電気給湯器・ヒートポンプ式給湯システムの開発・製造を行う日本イミック社への継続投資を通じ日本の競争力ある技術・企業の各種経営・海外事業展開を支援</li> <li>● 環境対応都市「スマートシティ」に関連し、英国Arup社とJ/V「MASP」を設立、英国での環境総合都市企画・開発推進中</li> <li>● 国内では富士通とJ/V「フューチャーシティソリューションズ(株)」を立ち上げ、スマートコミュニティ事業への取り組みを開始。また、浦安市他と協働にて「浦安市環境共生都市スマートコミュニティセンター」企画・開発推進中</li> </ul>
	国際輸送での最適物流サービスの提供	地域企業の海外展開(工場進出等)に伴う設備輸送等の物流を受託し、地域企業の海外展開に寄与。近隣港を起用した輸送スキームを構築し国内輸送ルートの短縮を実現
	保管・配送における最適ロジスティクスの提供	トライネット・ロジスティクス(株)が「衣料品、健康食品等の国内外調達品を小売店舗、消費者に供給」する流通加工サービス提供を通じて、顧客の販売戦略に応じた効率的流通システム構築に寄与